

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	B：グローバル化に対応した人文学・社会科学教育の国際比較
研究テーマ名	国民国家型の大学歴史教育をグローバル化時代に適応させる方法に関する国際比較
研究代表者	堤 一昭
所属機関・部局・職	大阪大学・文学研究科・教授
研究成果の総合評点：B	
研究成果に係る所見	
<p>グローバルヒストリーの研究と新しい授業モデルの開発という重要で緊急性の高いテーマについて、国際的な研究会の開催、国際学会での報告、海外での授業モデルの試行など積極的に取り組んでいる。しかし難しい課題であるだけに、国民国家中心の歴史学の仕組みを改善する方法など、当初目指していた研究目的の達成は不明である。今後の研究の一層の進展を期待する。また、日本語、英語、中国語の3カ国語によるホームページも作成し、研究活動の海外へ発信する取り組みも試みられているが、海外の研究者との交流を促進するようなコンテンツの充実が望まれる。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い